

第9回 JCHO 地域医療総合医学会 一般演題 募集カテゴリー
【部会がカテゴリーを設定した目的について】

部会名	テーマ	NO	カテゴリー(事例)	設定目的
事務部会	IX.事務部門	0901	1)経営戦略	JCHO 発足以降各病院で取り組んできた様々な経営改善に取り組んできたが、病院だけでなく健診部門や老健施設なども運営する JCHO の特色を活かした改善事例について議論し、今後の経営戦略に活かす場としたい。
看護部会	X.看護部門	1001	1)意思決定支援	将来起こりうる病状の変化に備えて、医療従事者が患者と家族と共に、患者の医療上の希望、生命維持治療に対する意向、医療に関する代理意思決定者等を選定するプロセスでもある ACP。その ACP について看護・介護の両面から、取り組み内容や実際使用するツールなどを発表していただきたい。そして、患者の尊厳や意思を重んじることができるような医療職を目指したと考えたため。
薬剤部会	XI.薬剤部門	1101	1)薬剤師業務と診療報酬	薬剤師は医療現場において様々な多職種協働のチーム医療へ参画している。一方で薬剤師の生産性は薬剤管理指導業務や、病棟薬剤業務といった薬剤師独自業務のみで評価されがちである。これらチーム医療に包括された薬剤師の業務に対してスポットをあて、薬剤師による幅広い病院経営への貢献について、各病院での取り組みを紹介し薬剤師業務の発展につなげる機会としたい。
放射線部会	XII.放射線部門	1201	1)診療放射線技師業務の医療安全・管理	診療放射線技師の視点から見た安全管理とは？日頃の放射線業務での医療安全管理として、①被ばく管理(性腺・患者/受診者・術者)、②読影既読管理、③患者/受診者対応などがある。自施設での工夫や業務方法、マニュアルの整備などについて考え方を共有し、それぞれの施設での日常業務に役立つ対策の一助となるようにしたい。
臨床検査部会	XIII.臨床検査部門	1301	1)タスク・シフト/シェア、多職種連携	良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進する観点から、医療法改正により臨床検査技師の業務拡大として現行制度下で実施可能な範囲のタスク・シフト/シェアや多職種連携業務(チーム医療)における現状の取り組みと課題について JCHO 病院として共有するため。
リハビリ部会	XIV.リハビリ部門	1401	1)多職種連携	働き方改革により、タスクシェア、業務改善など各施設、各職種が取り組んでいます。リハビリ職種は、医師、看護師、栄養士など多職種との関りが欠かせない職種です。その中で、リハビリの早期介入、病棟職員との連携強化と退院促進を目指し、リハビリを提供しています。各施設の多職種との関り、働き方、活動を報告していただく。
栄養部会	XV.栄養部門	1501	1)栄養業務	栄養サポート、在宅含む栄養指導、教室など栄養管理に関すること、給食管理に関することなど多職種が各施設での取り組みを発表できそうなカテゴリーとしました。
臨床工学部会	XVI.臨床工学部門	1601	1)タスク・シフトの効果検証(労務時間・経費の節減)	臨床工学技士のタスク・シフトについて、様々な場面で各施設の業務従事内容の紹介も一巡したが、その効果についての報告は少ない。効果の客観的評価指標として労務軽減時間や経費削減、増収効果等の視点でまとめた報告を通じて学びたい。
ソーシャルワーカー部会	XVII.ソーシャルワーカー部門	1701	1)重層的支援体制構築	今日における少子高齢化の波や生活問題の複雑化に関連する課題(社会的孤立、ダブルケア・いわゆる 8050 等)に対応するには、権利擁護、エンパワメント、調整、組織化、社会資源開発などのソーシャルワーク機能に加え、複合化した課題を受け止める多機関協働による重層的相談支援体制の構築が欠かせない。様々な地域で展開された保健医療ソーシャルワーカーによる重層的支援体制の構築事例や取り組み、そこで得られた新たな知見を全国ネットで共有することは、SW の実践能力の向上と JCHO の使命を果たす一助となると考えるため。